

令和4年10月7日
土木部都市局下水道課
直通：029-301-4684

県内の下水処理場における脱水汚泥等の放射能濃度
及び放射線量率の測定結果について

令和4年7月から9月にかけて下記のとおり測定を行いましたところ、この期間中に発生している脱水汚泥等の放射能濃度及び下水処理場の放射線量率は前回と同程度の数値であり、大きな変動はありませんでした。

のことから、現在発生している脱水汚泥等については、全ての処理場で処分できております。

記

	県下水処理場における脱水汚泥等の放射能濃度	県下水処理場における放射線量率	公共下水道における脱水汚泥の放射能濃度
対象処理場	県下水処理場 8 処理場	県下水処理場 8 処理場	7 市町 1 団体 10 処理場
測定日	令和4年7月5日（火） から9月15日（木）	令和4年7月12日（火） から9月14日（水）	令和4年9月5日（月） から9月8日（木）
測定機関	茨城県流域下水道事務所	各処理場	茨城県流域下水道事務所
測定機器	ガンマ線スペクトロメータ NaI(Tl) 検出器	NaI シンチレーションサーベイメータ（アロカ社製）	ガンマ線スペクトロメータ NaI(Tl) 検出器
測定高さ		地上 1 m	
結果	別添 表1のとおり	別添 表2のとおり	別添 表3のとおり

表1 県下水処理場における脱水汚泥等の放射能濃度

(単位 : Bq/kg)

処理場名	試料名	今回公表値			前回公表値 150~152回目
		155回目 (9/13~15)	154回目 (8/9~10)	153回目 (7/5~6)	
		放射性 セシウム	放射性 セシウム	放射性 セシウム	
深芝処理場	脱水汚泥				不検出
	焼却灰	不検出	不検出	63	不検出
那珂久慈浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
	焼却灰	87	75	76	52~76
霞ヶ浦浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
	焼却灰	150	36	59	31~83
利根浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
	焼却灰	79	79	47	33~110
潮来浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出
きぬアクアステーション	脱水汚泥	不検出			不検出
さしまアクアステーション	脱水汚泥	不検出			不検出
小貝川東部浄化センター	脱水汚泥	不検出			不検出

・放射性ヨウ素(I-131)については半減期が短いこと(約8日)、県内のモニタリングポストにおいて大きな変動が見られないことから未測定
 ・放射性セシウム: Cs-134、Cs-137 の合計
 ・括弧内は試料採取日
 ・脱水汚泥は、過去3ヶ月以上不検出の場合は3ヶ月に1回測定
 ・指定廃棄物となる脱水汚泥等の放射能濃度は8,000Bq/kg超

表2 県下水処理場における放射線量率

(単位 : $\mu\text{Sv}/\text{h}$)

処理場名	測定日 注1)	バック グラウ ンド ^{注2)}	敷地 境界 (風下)	事務室 (室内)	脱水機 管理室 (室内)	焼却炉 管理室 (室内)	焼却炉 ^{注3)}	<参考>	
								直近の市町等線量率 ^{注5)}	測定箇所
深芝処理場	前回 ^{注4)}	0.04	0.03	0.06	0.06	0.05	0.05	神栖市役所 ^{注6)}	0.041
	9/5	0.04	0.04	0.05	0.06	0.05	0.05		
那珂久慈浄化センター	前回 ^{注4)}	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09	0.09	常陸那珂局 (ひたちなか市)	0.062
	7/12	0.10	0.08	0.10	0.10	0.10	0.08		
	8/9	0.10	0.09	0.09	0.10	0.09	0.08		
	9/13	0.09	0.08	0.08	0.10	0.09	0.08		
霞ヶ浦浄化センター	前回 ^{注4)}	0.09	0.09	0.08	0.08	0.10	0.06	土浦市 大岩田配水場	0.059
	7/14	0.09	0.10	0.09	0.09	0.09	0.07		
	8/12	0.08	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08		
	9/8	0.10	0.09	0.10	0.09	0.09	0.06		
利根浄化センター	前回 ^{注4)}	0.09	0.10	0.09	0.07	0.07	0.04	利根町役場	0.049
	9/14	0.12	0.09	0.09	0.09	0.09	0.04		
潮来浄化センター	前回 ^{注4)}	0.09	0.08	0.10	0.06	/ /		潮来市 かすみ保健 福祉センター	0.047
	9/8	0.07	0.08	0.09	0.05	/ /			
きぬアクアステーション	前回 ^{注4)}	0.06	0.07	0.08	0.07	/ /		下妻市役所	0.060
	9/6	0.06	0.07	0.07	0.07	/ /			
さしまアクアステーション	前回 ^{注4)}	0.06	0.06	0.06	0.08	/ /		境町役場 ^{注7)}	0.043
	9/6	0.06	0.05	0.05	0.07	/ /			
小貝東部浄化センター	前回 ^{注4)}	0.06	0.07	0.06	0.11	/ /		筑西市立 生涯学習 センター	0.053
	9/6	0.06	0.06	0.07	0.11	/ /			

注1) 指定廃棄物を保管している那珂久慈浄化センター及び霞ヶ浦浄化センターは月1回、それ以外の処理場は、3ヶ月に1回測定

注2) 汚泥処理施設から十分離れた地点

注3) 焼却施設から風下1mの地点

注4) 前回公表値は、令和4年4月から6月の測定結果の平均

注5) 直近の市町等線量率は、各処理場所在市町のモニタリングポスト（市町内に複数のモニタリングポストがある場合には、最も近いもの）の測定データとした（測定日時：10月6日（木）9:00 原子力規制委員会ホームページ放射線モニタリング情報より）

注6) 神栖市役所の線量率は、調整中でデータ欠損のため、調整前の10月4日（火）19:20の値を掲載

注7) 境町役場の線量率は、調整中でデータ欠損のため、調整前の10月4日（火）16:20の値を掲載

表3 公共下水道における脱水汚泥の放射能濃度

(単位 : Bq/kg)

市町村名	処理場名	試料名	今回公表値	前回公表値
			110回目 (9/5~8)	109回目 (6/6~24)
水戸市	水戸市浄化センター	脱水汚泥	放射性セシウム	放射性セシウム
	内原浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出
日立市	池の川処理場	脱水汚泥	不検出	不検出
北茨城市	浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出
笠間市	浄化センターともべ	脱水汚泥	不検出	不検出
	浄化センターいわま	脱水汚泥	不検出	不検出
ひたちなか市	下水浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出
茨城町	茨城町浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出
城里町	かつら水処理センター	脱水汚泥	不検出	—注1)
日立・高萩広域下水道組合	伊師浄化センター	脱水汚泥	不検出	不検出
<ul style="list-style-type: none"> ・放射性ヨウ素(I-131)については半減期が短いこと(約8日)、県内のモニタリングポストにおいて大きな変動が見られないことから未測定 ・放射性セシウム: Cs-134、Cs-137 の合計 ・括弧内は試料採取日 ・原則として3ヶ月に1回測定 ・指定廃棄物となる脱水汚泥の放射能濃度は8,000Bq/kg超 				
注1) 前回測定時、かつら水処理センターは修繕作業中であり、脱水汚泥の搬出がなかったことから測定値なし				